

ステージ 2
宝塚 3

きたっぶり

良に 2 小説 2 商況 5
一チ 8 スムアップ 4
作主張 9 本よみうり堂 6
ペット 7 総合 8

夕刊 読賣新聞

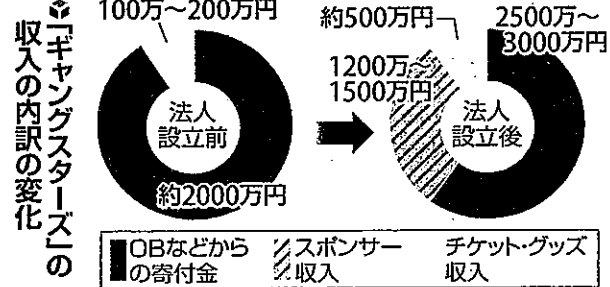
発行所 読売新聞大阪本社 〒530-8551 大阪市北区野崎町5-9 電話(06)6361-1111(代) www.yomiuri.co.jp

法人設立、スポンサーと契約

大学スポーツ 自立へ攻勢



▲京都大アメフト部のクラブハウス。最新のトレーニング器具で部員らが汗を流す(京都市左京区) 〓河村道浩撮影



◆「キャンパススターズ」の収入の内訳の変化

一般社団法人 2人以上の社員がいれば設立でき、団体名義での銀行口座の開設や不動産の取得ができる。事業分野の制限はなく、収益を生む活動も可能だが、剰余金や残余財産を社員に分配することはできない。法務省によると、新規設立や組織変更での登記は年間6000件程度。

京大アメフト部 収益安定 最新設備導入

4度の日本一を誇る京都大アメフト部「キャンパススターズ」が、名門復活に本腰を入れている。5年前に一般社団法人を設立したことで、企業と対等な立場でスポンサー契約を結ぶことが可能になり、収益が安定。最新の練習設備を導入し、再建の基盤作りが進む。他大学でも追随する動きが出ており、OBの寄付に頼りがちな大学運動部が企業と連携し、自立の可能性を広げる試みとして注目が集まる。

(京都総局 坂戸奎太)

7月上旬、京都市左京区にある京都大のグラウンドで部員らが、タックルマシンへ体当たりを繰り返していた。グラウンドやクラブハウスには、500万円以上かけて購入した最新のトレーニング器具が並ぶ。ゼネラルマネジャーの三輪誠司さん(56)は「法人の設立でトップレベルの競争ができる環境を整えることができた」と満足げだ。三輪さんやOB会長らも

一般社団法人「京都大学アメフト部」を設立したのは2016年。資金力の豊富な私学に対抗できず、1996年度を最後に関西学生リーグの優勝から遠ざかっていた状況に危機感を抱いたためだ。法人としての京都大も社員に加わった。

■年間予算倍増

一般社団法人の最大の強みは透明性だ。以前は、部にCM出演の誘いがあったとしても銀行口座が個人名義だったり、責任の所在が曖昧だったりして、契約が見送られたこともあったという。しかし、法人では寄付金やスポンサー収入、チケット代といった「収入」と、用具の購入費や人件費といった「支出」を一元的に管理。社員総会では公認会計士が決算に目を通すといひ、三輪さんは「厳しさを一般企業並みだ。企業と対等になり、スポンサーを募りやすくなった」と話す。現在のスポンサーは、不動産や衣料、ITなど10社。スポンサー収入だけで年間1200万~1500万円

19年に大学スポーツ界の収益力強化を目指す「大学スポーツ協会(UNIVASS)」が設立されるなど企業と大学スポーツを結びつける動きは近年、盛んで、一般社団法人の設立もその流れにある。東京大アメフト部「ウォリアーズ」は18年に一般社団法人を設立。30社近いスポンサーが集まり、部員のヘルメットやプロテクターをそろえることができたという。

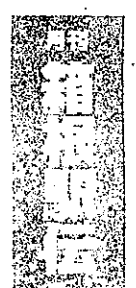
低迷に危機感

一般社団法人「京都大学アメフト部」を設立したのは2016年。資金力の豊富な私学に対抗できず、1996年度を最後に関西学生リーグの優勝から遠ざかっていた状況に危機感を抱いたためだ。法人としての京都大も社員に加わった。

格差に危惧

19年に大学スポーツ界の収益力強化を目指す「大学スポーツ協会(UNIVASS)」が設立されるなど企業と大学スポーツを結びつける動きは近年、盛んで、一般社団法人の設立もその流れにある。東京大アメフト部「ウォリアーズ」は18年に一般社団法人を設立。30社近いスポンサーが集まり、部員のヘルメットやプロテクターをそろえることができたという。

大阪成蹊大の植田真司教授(スポーツ経済学)は「強豪私学と比べ、特に国立大は選手獲得や資金面で不利な立場にあり、法人設立は対等に戦うための選択肢の一つだ」と指摘。「詳細な会計報告や総会開催で相当な手間がかかるが、自立のために適正な収益を生み出すとする姿勢は評価できる。ただ、資金集めが容易な人気の運動部は一部だけで、他の部や競技との格差につながる可能性がある」と話した。



東京五輪 7面
早大OBの早稲川 悲願のメダルに挑む。